

太陽グリーンエナジーが香川県、岐阜県に 新たに水上太陽光発電所を開所

太陽ホールディングス株式会社(本社：東京都豊島区、代表取締役社長：佐藤 英志、証券コード:4626)の子会社である太陽グリーンエナジー株式会社(本社：埼玉県比企郡嵐山町、代表取締役社長：荒神文彦)は、このたび、香川県及び岐阜県の2箇所において新たに水上太陽光発電所を開所しましたので、お知らせいたします。

今回開所した2箇所の発電施設は、既に設備計画認定を取得している他事業者より事業の権利を譲受け、設立しました。これにより、太陽グリーンエナジーによる年間想定発電量は約14.6GWhとなり、当社国内グループでの電力消費量(※)の約100%相当となります。

太陽グリーンエナジーは、再生可能エネルギー特別措置法に基づく再生可能エネルギー全量買取制度導入にとまない、2015年10月21日に嵐山花見台工業団地(埼玉県比企郡嵐山町)の調整池にて同社初となる水上太陽光発電を開始。今回の2基を含め、これまでに埼玉県、兵庫県、奈良県、岐阜県、愛知県、香川県の6県で9基の水上太陽光発電施設を開設しています。

※2018年末時点での集計データで算出

【水上太陽光発電所の概要】

設 備 名 称	御厩池水上太陽光発電所	平池水上太陽光発電所
		
設 置 場 所	香川県高松市御厩町西山	岐阜県養老郡養老町大場
開 所 日	2019年9月19日	2019年9月30日
発 電 規 模	約 2,848.5kW	約 1,080kW
想 定 発 電 量	約4,132千 kWh/年	約 1,375千 kWh/年

一般に太陽光パネルは温度が上昇すると発電量が減少する性質がありますが、水上設置型は水面の冷却効果により太陽光パネルの温度上昇を抑えることができるため、陸上設置型に比べて発電効率の点で有利といえます。また、水面への日射をさげることによるアオコ発生の抑制も期待できます。

今後も、当社グループでは、消費するエネルギーの全てを自らの発電で賄うことを目指し、更なる展開を行うとともに、自然環境にやさしい「再生可能エネルギー」の普及促進や、地球規模の環境問題に真剣に取り組むことで社会に貢献してまいります。